

会長・理事長退任と就任のご挨拶

角廣勲前会長退任のご挨拶

広響会長として、6年の長きにわたり皆様には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

この間、多くの思い出に残るイベントがありました。一つは、平成27年8月には世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチを招聘し、広島と東京で「平和の夕べ」コンサートを開催、内外に向け「世界平和と人類の協調進歩の重要性」のメッセージを強く発信することが出来たことです。サントリーホールでは、天皇皇后両陛下をお迎えした天覧コンサートとなり、両陛下より直接広響への励ましのお言葉を賜り、感激で胸が一杯になったことを昨日のこのように思い出します。

もう一つは、平成29年4月に、それまで20年にわたって広響を育てて頂いた、秋山和慶音楽監督から愛弟子である、下野竜也音楽総監督への交代という楽団の大きな節目がございました。お陰様で、スムーズな交代ができ、下野広響の人気も上々で、誠に嬉しく思っております。

皆様には、これまで広響に多大なるご支援を賜り、感謝の気持で一杯です。郷土の誇りである広響が、今後も地域の発展のため一層活躍できますよう、池田会長・東谷理事長の新体制をどうかよろしく願い申し上げます。



金田幸三前理事長退任のご挨拶

この度、9年間にわたり共に歩んでまいりました広島交響楽団を去り外部から応援することになりました。広響はお客さま、自治体及び企業など地域の皆様から共感をもって多大なご支援を頂いています。それに応え、ひたむきな努力の成果としてお客様からの評価も上がっているところです。在任中に創立50周年や公益社団法人への移行などに携わることができました。演奏会ではツアーラングリラやアルプス交響曲などの大規模編成曲や天皇・皇后両陛下の行幸啓を賜ったサントリーホールでの演奏が感動とともに記憶に残っています。

広響がさらに一層、地域に愛され誇りとなる楽団となりますようお願いしています。

心からの感謝を込めて“ありがとうございました”



池田晃治新会長就任のご挨拶

このたび、角廣前会長の後任として会長に選任頂いた池田でございます。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

広島交響楽団は、本年創立55年目を迎え、秋山和慶終身名誉指揮者、下野竜也音楽総監督の下、現在では我が国有数のオーケストラに成長、内外より高い評価を得ております。広島カープ、サンフレッチェ広島と共にP3 HIROSHIMAとして社会貢献活動を行う等、地域が誇る楽団として活躍の場を広げております。

来年2019年8月には、日本・ポーランド国交樹立100周年を記念し、日本を代表して広響メンバーがワルシャワに赴き、シンフォニア・ヴァルソヴィアと合同演奏会を行います。翌2020年は東京オリンピック開催、被爆75年と歴史を刻む年であり、人類初の被爆地である広島に存在し、平和の使者と言える広響の存在意義と役割は一層高まっていくものと存じます。

私も、広響応援団として、東谷理事長はじめ理事各位と力を合わせ応援して行く所存でございます。皆様におかれましても、広響に一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。



東谷法文新理事長就任のご挨拶

このたび、金田理事長の後任に選任されました^{ひがしたに}東谷でございます。身に余る大任を仰せつかることとなり、身の引き締まる思いでございます。

金田理事長のこれまで9年間にわたるご功績には、誠に頭が下がる思いです。支援者や入場者数の拡大に向け常に先頭に立たれ、経営基盤の強化に多大なるご貢献をなされました。熟慮のもと果敢に行動する理事長でありました。

私も非力ながら、この“カネダイズム”を引き継ぎ、世界平和に貢献し地域の皆様から愛され誇りとされる広響を目指して、「風に向かって立つ」の意気込みのもと陣頭に立つ覚悟であります。

皆様方には、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

